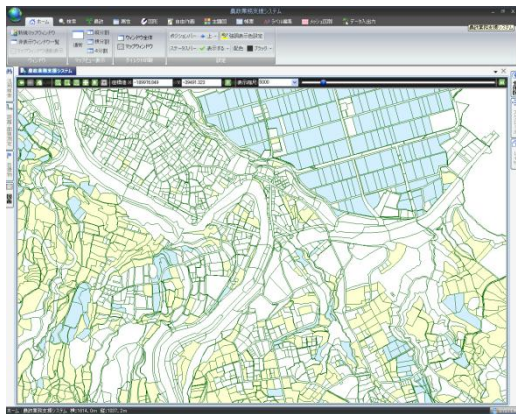




KGS.農政業務支援システム



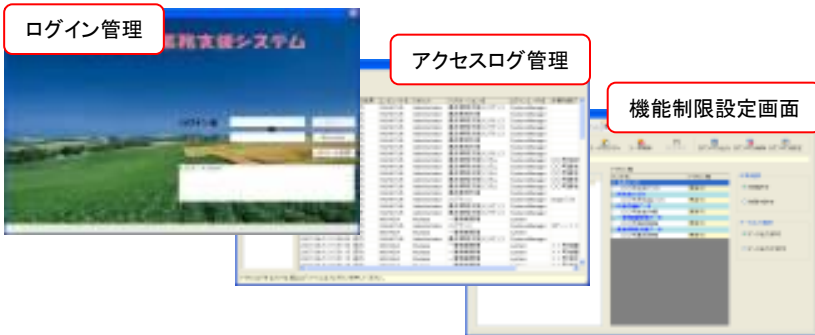
「農政業務支援システム」は、農地地図と農家基本台帳を一元管理し、情報を相互参照することで農政業務の効率化を支援します。

農地情報の片内横断的な利活用へとつながります。

〈主な機能〉

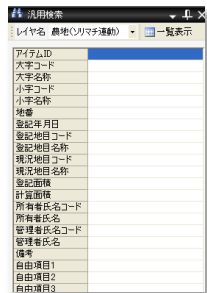
万全なセキュリティ対策

セキュリティを高く保つため起動時はログイン名とパスワードの入力が必須です。また、ユーザ単位の機能制限やアクセスログの管理も可能です。



充実の検索機能

耕作者や所有者、経営主指定など様々な情報から検索することができます。あらゆる場面で迅速な検索が可能です。



地図と台帳のリンクで一元管理！

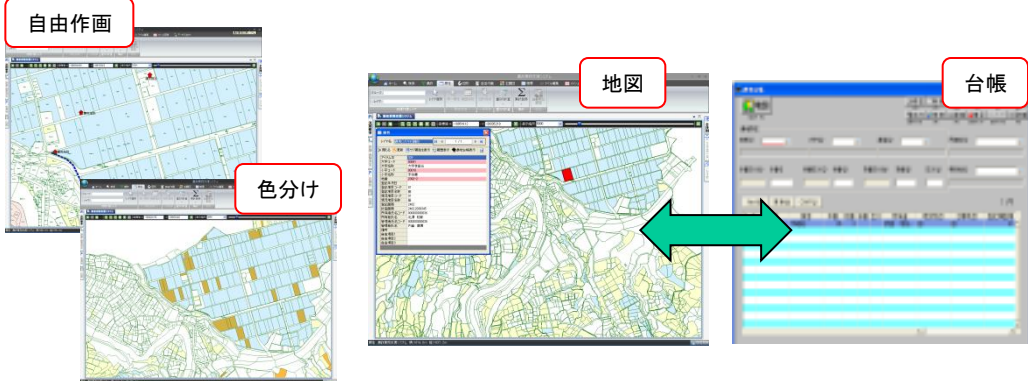
担い手育成・集落営農・農振マップなど今後の農業政策を進める上で必要な台帳の情報を、地図で表現して分かりやすくします。

全国農業会議所標準の台帳ソフトと連携しているため、品目横断的経営安定対策事業による証明書等の様式変更にも対応済みです。

色分けや作画が自由自在

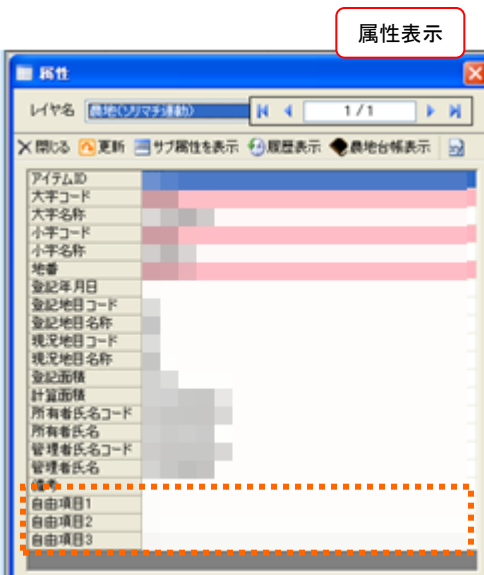
台帳属性ごとに色分け条件設定を行えます。色分けした状態で出力など他の操作が可能です。

自由作画機能では点、線、面や文字列を任意に作成できます。作成したものには自由に名称を設定でき、検索することも可能です。また、属性の入力もできます。



登記情報と農地情報を一元管理！ 属性項目を自由に作成

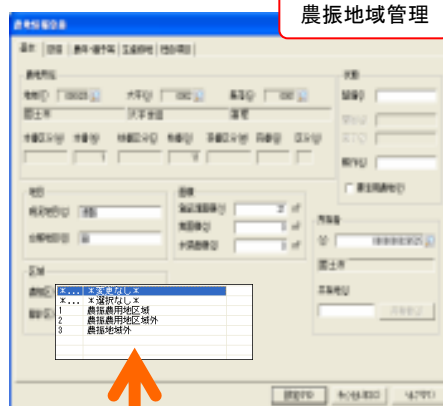
筆を選択し、登記情報と農地情報どちらも表示することができます。属性項目を自由に設定し、コード管理をすることも可能です。



属性表示

農業振興地域を筆ごとに管理

農業振興地域の管理は、農地台帳属性として筆単位に行えます。また、編入・除外による農振地域面積のシミュレーションも行えます。



農振地域管理

<農振農用地区域区分例>

- ①農振農用地区域
- ②農振農用地区域外
- ③農振地域外

農振集計

項目は自由に追加・変更可能

属性項目設定

自由項目	ラベル名称
自由項目1	中山間地域
自由項目2	圃場整備地区
自由項目3	都市計画情報

土地情報に農地データを重ねて活用

登記地図や地番図などの『土地情報(ベースマップ)』と、それに準拠した『農地地図』や水張や耕作・エリアを設定した『農地図形』のデータを重ね合わせ、一元管理することが可能です。航空写真を重ねることで、現地の状況も一目で分かります。

農地属性を自由に集計

農地属性を基に集計表の作成が行えます。集計時には細かな設定をすることも可能で、農振集計や複数項目の同時集計(クロス集計)もできます。

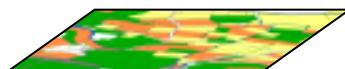


集計設定

クロス集計



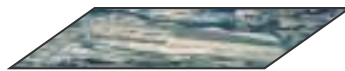
農地図形(水張・耕作など)



農地地図(土地情報に準拠)



土地情報(ベースマップ)



航空写真